

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表 086-271-7175
FAX 086-271-4815
郵便振替 岡山01230-9-3532
発行責任者 岸本 清美
編集責任者 豊島 始男
印刷所 西尾総合印刷株式会社
定価 (郵税共) 年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

平成24年度県連盟役員並びに各連合会事務担当者研修会を開催

岡山県遺族連盟

県遺族連盟では十二月五日(水)、平成二十四年度事業計画に基づき、県護国神社「いさお会館」会議室において県連盟役員並びに各市郡遺族連合会事務担当者の合同研修会を開催した。

研修会では元海軍大尉で零戦飛行隊長を務めた増山保雄氏の講演を拝聴すると共に、中国・四国ブロック遺族会会議の報告をはじめ、来年度政府予算編成、新法人移行など当面する諸問題について研修した。

また、研修会終了後、午後から県護国神社の境内清掃に汗を流した。

研修会には県遺族連盟の役員のほか、県下各遺族連合会の事務担当者ら六十人が参加。定刻の午前十時三十分には開会し、護国神社に鎮まるご英霊に黙祷を捧げた後、岸本会長が挨拶を行った。

岸本会長は「先般、執り行いました県遺族連盟創立六十五周年記念式典には、雨模様様の天候でありましたが、県下各地からご参集を賜り誠にありがとうございました。また、伊原木新知事ら多くのご来賓のご参列を賜り、盛会裏に式典を終えることができましたことに改めてお礼を申し上げます。

また、昨日は衆議院総選挙が公示になり、いよ



研修会で講演する増山氏

いよ選挙戦が始まりました。民主党が政権を担うまであります。更に大きくから三年、震災復興は大幅に遅れ、デフレは収

まらず景気は低迷したままです。更に大きくから三年、震災復興は大幅に遅れ、デフレは収

また、私自身も昭和十九年六月のマリアナ沖海戦において、乗船していた航空母艦・翔鶴(しようかく)が敵米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没

た。また、私自身も昭和十九年六月のマリアナ沖海戦において、乗船していた航空母艦・翔鶴(しようかく)が敵米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没

次に、岸本会長が、十一月一日に岡山市内で開催された中国・四国ブロック遺族会会議の報告(本紙十月号掲載)を行い、

続いて研修に入り、先ず「野球小僧が零戦飛行隊長に」と題して、元海軍大尉の増山保雄氏の講演を拝聴した。増山氏は講演で、「飛行教官として指導した多くの少年飛行兵が特攻に送り出され

午後十二時二十分、合同研修会を閉会した。

また、昨年と同様に、巨木の枝打ちや間引きなど、危険を伴う高所の作業は岡山市内の専門業者である(株)山都屋に依頼。

このたびの清掃作業に参加をいただきました皆様にお礼申し上げますと共に、「ご英霊鎮まる護国神社のために」と、全面的にご協力を賜りました(株)山都屋、(株)金信建設の皆様方に心から感謝申し上げます。

昨年に引き続き 神社境内清掃を実施

県遺族連盟では、十二月五日に開催した合同研修会終了後、県護国神社境内の清掃作業を行った。

この活動は、昨年に引き続き実施するもので、研修会参加者は境内

の建物など、施設に悪影響を及ぼしている木々の間引きや落ち葉の除去・搬出など、午後一時から約二時間、清掃作業に汗を流した。

なお、昨年は、主に第一鳥居から研修所、社務所付近など、境内北側の清掃作業を行ったが、今年には本殿から宝物館、第一鳥居までの間の、主に境内南側を実施した。



作業する研修会参加者 (第一鳥居南側)

全国大会を来年二月五日に変更

日本遺族会

衆議院解散・総選挙により

平成25年度予算編成大幅に遅れる

既報のとおり、財務省は九月七日、平成二十五年度政府予算に対する各省庁からの概算要求を締め切った。最重要課題である「戦没者等の妻に対する特別給付金の継続・増額」など、概算要求に計上された遺族会の要望事項については、本紙への掲載や岡山県戦没者遺族代表者大会における資料配布などで会員に通知したところである。

このため、日本遺族会では当初予定していた全国戦没者遺族大会並びに国会陳情を中止し、新政府

権発足後の予算編成のスケジュールについて、国会、財務省など関係方面の情報収集を行い、来年二月五日(火)に改めて全国大会を開催することを決定した。

者、公認会計士などで構成する公益認定等審議会により、十二月中に二回審査を行い、認可の可否について決定するとのことである。

滞りなく移行が県から認定されると、今後、現法人の解散登記及び新法人の設立登記の続きを行い、来年から一般財団法人として出発することとなる。また、諸規定等(内部規定)についても、あわせて整備にかかることとなる。

日本遺族会では、計上された遺族処遇改善項目の完全実現を図るため、予算編成時期である十二月十八日(火)に全国戦没者遺族大会を自由民主党本部で開催し、地元選出国會議員に陳情を行う予定であったが、衆議院が十一月十六日に解散し、十二月四日公示・同十六日投票の日程で総選挙が行われることとなり、平成

新法人移行に向けて

10月末に岡山県へ認可申請

岡山県遺族連盟

このたびの公益法人制度改革に伴い、県遺族連盟では来年四月一日からの非営利型・一般財団法人の移行認可を得るべく、岡山県並びに専門家などの助言をいただきながら一昨年来より準備を進めてきたが、公益目的支出計画に基づく予算の策定や定款・新役員名簿など、申請書類の修正・点検を完了し、去る十月二十九日、岡山県公益法人行政担当宛に電子メールにより認可申請を行った。

岡山県によると、本連盟の移行申請は学識経験

なお、新法人の公益目的支出計画における事業について、継続事業としては英霊顕彰事業、遺族処遇改善事業、その他の事業(賃貸事業)があるが、この公益目的事業を行うための財産(公益目的財産)は、算定日である平成二十四年三月三十一日において四四二、一四一、一五一円、その計画の実施期間(事業の実施による財産の消滅期間)は二十五年間となっている。



清掃作業と神社境内



ミャンマー慰霊友好親善訪問 姉の積年の想い

高梁市成羽町下原
堀江 優

お父さん、慰霊巡拝の旅で、優は又会いに来ました。一緒に来られなかつた姉の追悼の言葉をこ

れから私が代読します。――「お父さん、祝美です。皆様と一緒できればよかったのですが、来られなく本当に残念に思

います。時は流れて行きました。ほんのちよつとの間でしたが、両親と楽

しく暮らした古里の懐かしい家に今は人はなく、淋しい思いはありますが、これも致し方ないことなのかと思っています。

お別れしてから六十数年の歳月が流れ、小さかつた私達も高齢になりました。お父さんに大変可愛

愛がっつてもらったことを私は今でもよく覚えてい

ます。抱っこしてもらったお父さんの胸の温もりが、まだ心に生き続けているように思えます。小学校

に入学し、字が書けるようになった時、絵と手紙を送りましたね。母からお父さんがとても喜んでくれたと聞いています。

昭和二十年二月、お父さんが亡くなったと聞か

された時、何がただか信じることはできず、その後、お父さんの帰りを毎日毎日待ち続けていま

した。「死んだなんて嘘だ。きつと帰ってくるんだ」と強く信じ続けてい

ました。しかし事実を認めざるを得ませんでした。

父の死が家族にどんな影響を及ぼすのか、小さかつた私達には勿論、分

からないことでした。母は杖とも柱とも頼りにし

ていた夫が帰らぬ人となつたことで、落胆し氣力を無くす程、深い悲しみがあつたことは、小さい

子供には想像も付かないことでした。『子供を頼む』と、何

き、夜なべまでして一生懸命、私達二人を氣丈に育ててくれました。とても強い母に見えました。が、心の中に多くの悩みを抱えていることで、反

今、私達姉弟は近くにあって、お互い助け合いながら平穩無事に幸せに暮らしています。どうか、これからも私達家族を遠い異国の地の草葉の陰から、そつと見守つて下さい。残した家族のことを心配することなく、どうか安らかに眠り下さい――以上が姉の積年の想いです。

最後にになりましたが、亡き父らの眠る戦没地に立ち、慰霊巡拝を行うことを通して現地の方々の友好親善に努め、相互の理解や交流を深めることで、世界の恒久平和と互いの国の繁栄に資することが戦没者の方々の願いに報いることになることを考えます。今後も不断の努力を致すことをお父さんにお誓いし、私の追悼の言葉といたします。

平成24年12月1日 堀江功の長男 堀江 優 長女 池田祝美 (追伸) 私たちを温かく迎えていただいたミャンマーの人々、この事業にご尽力をいただいた遺族会をはじめ関係者の皆様方に心から感謝を申し上げます。



父の慰霊祭に臨んだ堀江さん (12月1日：ミンジャン)

初詣 厳かな神域で祈る 一年の始まり。

日本の平和と繁栄の礎となられたご英霊鎮まる社で
来る年を思いご英霊への感謝と平和への祈りを捧げましょう。
初詣はご家族・お友達と一緒に護國神社で。

大晦日の午後11時から境内をライトアップ
元旦から3日まで御神酒が振る舞われます。

平成25年 癸巳之歳
舞樂殿に掲げられる大絵馬 (縦3.5m×横6m)

岡山縣護國神社
岡山市中區奥市3-21 TEL.086-272-3017

- お車 岡山駅より15分 ●路面電車/東山終点下車徒歩15分
- バス (岡備バス) 護國神社前下車徒歩8分

駐車場無料 (約100台)

平成24年度沖縄戦跡慰霊巡拝

「岡山の塔」追悼式を挙行

岡山県遺族連盟では毎年、県補助事業により沖縄戦跡巡拝を行い、本島南端の摩文仁地域に建立されている「岡山の塔」において、沖縄及び南方諸地域で戦没された本県出身戦没者三万三千七百余柱の追悼式を執り行い、御霊をお慰めしているが、本年は岸本県遺族連盟会長をはじめ県下から四十九名が参加し、十一月二十二日から二十四日の日程で沖縄県を訪問した。

巡拝団は沖縄到着後、先ず全国の将兵をお祀りする沖縄県護國神社に参拝し、御霊の冥福と旅の平安を祈願。そして、沖縄戦最後の戦いが繰り広げられた南部方面の巡拝を行い、喜屋武岬にある「平和の塔」、米須地区の「魂魄の塔」にお参りし、巡拝第一日目を終えた。朝から雨模様で、昨年同様、天候が気になる訪問であったが、「健児の塔」の参拝に続いて沖縄戦没者墓苑での慰霊祭を終え、午前十一時から「岡山の塔」において戦没者追悼式を執り行う。幸いにも雨風もなく穏やかな中での開式となった。

追悼式は岡山県知事のご名代として伯野保健福祉部長、県議会議長はじめ関係者、沖縄県から県知事、県議会議長をはじめ関係者、同席のものと、御霊の冥福をお祈し、平和希求をお誓い申し上げた。その後、巡拝団は那覇

謹 哀 悼



野瀬 順 二 氏

日本遺族会元常務理事
岡山県遺族連盟元事務局長

長年、岡山県遺族連盟の事務局長を務められ、遺族運動と組織運営にご尽力をいただいた野瀬順二氏は、去る十二月二日の朝、心不全により岡山市内の榊原病院で逝去された。享年八十七歳。

謹んでお悔やみ申し上げますと共に、ご生前のご功績を偲び心から哀悼の意を表します。

なお、葬儀は岡山市内のセレマ岡山口イヤルホールで行われました。喪主は長男・雅夫氏。



「岡山の塔」戦没者追悼式（11月23日）

遺族会の動き

平成二十四年十二月行事表

- 5日 県連盟役員・各市郡遺族連盟会事務担当者合同研修会
- 28日 県護國神社境内清掃（県護國神社）
御用納め

平成二十五年一月行事表

- 1日 歳旦祭（県護國神社）
- 3日 元始祭（県護國神社）
- 10日 北方領土返還要求県民会議幹事会（岡山商工会議所）
- 13日 岡山市瀬戸遺族連合会正式参拝新年互礼会（県護國神社）
- 16日 崇敬者大総代・総代会合同会議（いさお会館）
- 25日 津山市遺族連合会新年互礼会（津山国際ホテル）
- 29日 日遺支部事務局長会（旧九段会館）
- 30日 日遺支部女性部長会（旧九段会館）
- 30日 日遺支部女性部長会（旧九段会館）

平成二十五年二月行事表

- 5日 全国戦没者遺族大会（国会陳情（自由民主会館））
- 20日 県連盟女性部平成24年度研修会（ホテルグランヴィア岡山）

市泊港から高速船で慶良間諸島の座間味島へ。翌二十四日午前、地元遺族会の宮里会長（元村長）のご案内をいただき、日本軍将兵と集団自決した地元住民をお祀りする「平和の塔」へ参拝し、無念の中で戦没された方々をお慰めした。そして慰霊行事を終えた巡拝団は午後、本島に戻り、夕刻、全員無事帰岡した。

遺 書

陸軍少佐 山本卓美 命

昭和十九年十二月七日
比島レイテ島付近にて戦死
福岡県糸島郡前原町出身 二十一歳



「平和の塔」の説明をいただいた宮里座間味村遺族会会長

父上様
母上様
卓美ハ才先ニ失礼致シマス。
二十有余年ノ間、此ノ上ナク可愛ガツテ頂キマシタ。
山ヨリモ高ク、海ヨリモ深キ養育ノ御恩ニ何等報ユル所ナク、御心配ヲカケ通シテ参リマシタガ、今ヤ御恩ノ万一二報ユル時ガ参リマシタ。
光栄アル八紘隊長ニ選バレ、南海ニ水漬ク屍トナルハ男子ノ本懐、只々感謝感激ノ外アリマセン。
信ズルハ皇国ノ必勝
祈ルハ皇運ノ無窮
靖國神社デ、才待チ致シテ居リマス。
御両親様、幸福ニ御暮シ下サイマス様、心ヨリ祈リ上ゲマス。
昭和十九年十一月三十日
山本卓美
（原文のまま）

【平成二十四年十二月 靖國神社社頭掲示】